

1年越しの!小惑星探査機「はやぶさ2」凱旋記念トークライブ!

# はやぶさ2 帰還 そして新たなミッションへ!

2021.12.26 日

14:30-16:00 (14:00開場)

千葉工業大学  
東京スカイツリータウン®キャンパス

A. Keshita  
イラスト: 池下章裕

2020年12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」は、小惑星「リュウグウ」で採取したサンプルが入ったカプセルを地球に届け、新たな旅路に出発しました。昨年、新型コロナ禍で開催できなかった「はやぶさ2」凱旋記念イベントを1年越しで開催!「はやぶさ2」観測機器を開発・検討した千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)研究員が揃ってのトークライブです。「はやぶさ2」に続く今後のミッションもご紹介!

内容 「はやぶさ2」地球帰還と拡張ミッションを解説 / みんなで考えよう!「はやぶさ2」クイズ!正解者には素敵なプレゼントも?!  
今だから話せる?!裏話のアレコレ / 「小惑星リュウグウ」サンプル分析の現状は?! / PERCが取り組む、今後打ち上げ予定の探査機を紹介!

参加費 | 無料 対象/参加年齢は問いません。

申込 | 予約フォームから事前予約制

※ 新型コロナウイルス感染予防対策を施したうえで  
収容定員の半数で開催(先着50名)。

予約フォームはこちらのQRから》

※定員になり次第、〆切

<https://req.qubo.jp/cit/form/perc>



## 登壇者

千秋 博紀 主席研究員 Hiroki SENSU

北海道生まれ。東京大学にて博士号(理学)を取得後、海洋研究開発機構、東京工業大学、サイバー大学、北海道大学を経て現職。専門は惑星科学。主に数値計算を駆使し、天体内部や表層環境の進化を研究。「はやぶさ2」ではレーザ高度計(LIDAR)、熱赤外カメラ(TIR)、近赤外分光計(NIRS3)などのチームメンバーとして、データの初期解析や取得データを予測するための数値計算を担当。最近では火星衛星探査計画(MMX)やピラミッド内部構造探査にも参加。

石橋 高 上席研究員 Ko ISHIBASHI

広島県生まれ、横浜育ち。東京大学理学部卒業、同大学院博士課程修了。博士(理学)。「はやぶさ2」では分離カメラ(DCAM3)の開発と研究を担当。また、2024年度打ち上げ予定の小惑星Phaethonのフライバイ観測を行う「DESTINY+」に搭載される小惑星追尾望遠モノクロカメラとマルチバンドカメラのPI(主任研究者)を務める。

和田 浩二 主席研究員 Koji WADA

和歌山県生まれ。東京大学理学部卒業、同大学院博士課程修了。博士(理学)。天体衝突現象を中心に惑星科学の理論的研究、主として数値シミュレーションを駆使した研究を行っている。「はやぶさ2」衝突装置(SCI)の開発とそのサイエンス検討を担当。火星衛星探査計画(MMX)にも参加。

山田 学 上席研究員 Manabu YAMADA

北海道生まれ。北海道大学理学部卒業、同大学院博士課程修了。博士(理学)。金星探査機「あかつき」搭載紫外カメラの開発・運用を経て、「はやぶさ2」光学航法カメラ(ONC)の開発と運用、研究を担当。現在は深宇宙探査技術実証機「DESTINY+」搭載のカメラ開発を担当。

※今後の感染拡大状況によりイベントを延期・中止、もしくは開催形態を変更する場合があります。

※マスクの着用、ご入場前の検温・消毒にご協力をお願い致します。またご体調の悪い方はご入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。

【主催】千葉工業大学惑星探査研究センター 【お問合せ】千葉工業大学入試広報部: 047-478-0222 (平日 10:00-17:00)